

# 第279回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日 時 令和8年2月14日（土）  
会 場 ステーションコンファレンス東京 5・6階（千代田区）  
第Ⅰ会場 (503CD) ※LIVE配信会場  
第Ⅱ会場 (503AB)  
第Ⅲ会場 (501A)  
第Ⅳ会場 (501B)  
第Ⅴ会場 (602AB)  
第Ⅵ会場 (605BC)  
PCセンター (501S)  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー4～6階  
TEL 03-6888-8080  
会 長 榊原記念病院附属クリニック  
井口 信雄

## 御案内

第Ⅰ会場のみLIVE配信を行います。参加の際は事前参加登録にご協力ください。詳細は地方会HPをご確認ください。

1. 参加費：会員／非会員（医師） 3,000円  
後期研修医、コメディカル 1,000円  
初期研修医、医学部学生 無料  
※当日、受付にて初期研修医証明書、学生証をご提示下さい。
2. 受付時間：参加受付 8:30-18:00  
PCセンター 8:30-17:30
3. 一般演題発表時間：口演5分、討論2分
4. Award: Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各Award最優秀賞、優秀賞を顕彰いたします。  
選考委員による第一次書類審査による選考後、地方会当日口述発表による第二次審査で審査委員から発表者に対し質疑応答を行います。（口演6分、討論4分）  
Student Award：第Ⅰ会場：16:00-16:50  
Resident Award：第Ⅰ会場：17:00-18:00  
Case Report Award：第Ⅱ会場：16:00-16:50  
Clinical Research Award：第Ⅱ会場：17:05-17:55  
なお、以下の項目が審査の対象となります。  
1) 正しい医学用語の使用  
2) 発表時間の厳守と態度  
3) 考察  
4) 質問に対する応答  
5) 循環器臨床に対する貢献度  
表彰式は評議員会終了後に評議員懇親会で行います。
5. その他：会場内では携帯電話のスイッチはお切りいただきマナー モードに設定して下さい。  
また、講演中の写真撮影はご遠慮下さい。

### 託児サービスのご案内：

日本循環器学会関東甲信越支部では、地方会へのご参加の利便を図るため託児サービスを行っております。

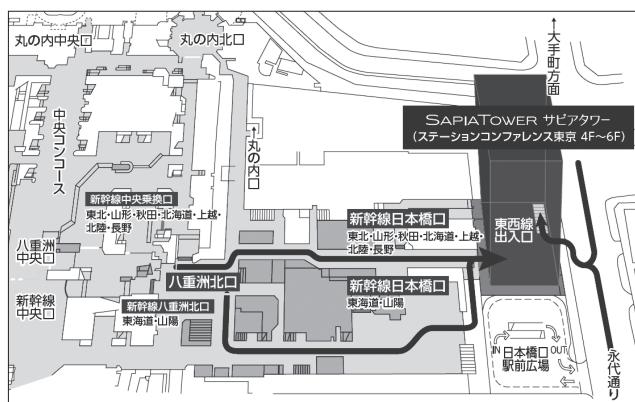
評議員会：地方会終了後、第Ⅰ会場で行います。

（懇親会は5階フロアにて行います。）

次回地方会：第280回地方会は次の通りです。

日時：令和8年6月13日（土）  
会場：ステーションコンファレンス東京（千代田区）  
会長：塚田（哲翁）弥生  
(日本医科大学武蔵小杉病院 救急・総合診療センター  
総合診療科/ 日本医科大学 総合医療・健康科学)

## ステーションコンファレンス東京 案内図



### 交通のご案内

#### 【JR線・東京メトロ】

「東京駅」日本橋口（新幹線専用改札口）徒歩1分  
八重洲北口改札口 徒歩2分  
東京メトロ東西線「大手町駅」B7出口から直結



## ご挨拶



第279回日本循環器学会関東甲信越地方会  
会長 井口 信雄  
公益財団法人榎原記念財団 榎原記念病院附属クリニック 院長

この度、第279回日本循環器学会関東甲信越地方会の大会長を拝命いたしましたこと、誠に光栄に存じます。

本地方会のテーマは「テクノロジーとチーム医療が奏でる、循環器診療の新時代」といたしました。

虚血性心疾患に対する冠動脈形成術、不整脈に対するカテーテルアブレーション、ペースメーカやICDを用いた治療、さらには大動脈弁狭窄症や僧房弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療など、循環器診療の各領域において新たなデバイスが次々と登場しております。加えて、画像診断の分野においても、半世紀ぶりのイノベーションとも言われるフォトンカウンティングCTが臨床に導入されるなど、テクノロジーの進歩は目覚ましいものがあります。

一方、心不全診療をはじめとする多くの領域では、医師個人の判断のみならず、多職種が連携するチーム医療の重要性が強く認識されるようになりました。さらに近年では、行政の関与も含めた、より包括的な支援体制の構築に向けた取り組みが活発化しております。

私たち循環器診療に携わる医療者は、こうした時代の流れを的確に捉え、テクノロジーとチーム医療を有効に活用しながら、新たに生じる課題に柔軟かつ的確に対応し、次の時代を見据えていくことが求められています。

このような考え方のもと、本地方会では循環器領域を幅広く、偏りなく取り上げるとともに、若い先生方にも興味を持っていただけるようなプログラム構成を心がけました。多くの先生方のご協力、ならびに多数の企業の皆様からの共催セミナー企画のご提案を賜り、充実した内容とすることことができました。

本地方会に多くの先生方にご参加いただき、活発で実りある議論が交わされる場となることを、心より願っております。

### 【発表者の方へ】

発表はすべてPCプレゼンテーションとなりますので、二次元コードより要領をご確認の上、ご発表の30分前までにPCセンターへお越し下さい。



# 第279回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日時：令和8年2月14日（土）

会場：ステーションコンファレンス東京 5・6階（千代田区）

会長：榎原記念病院附属クリニック 井口 信雄

	第I会場	第II会場	第III会場
8:50	開会挨拶		
9:00	会長企画セッションI イメージングを診断・治療に生かす 演者：橋本 剛 金子 智洋 泉 佑樹	9:00 一般演題1 心不全1 P10	9:00 一般演題3 肺高血圧/その他/全般的問題 P15
10:30	P6	9:45	9:45
10:40	教育セッションI 最新の不整脈診療を学ぶ 演者：山崎 浩 池田 礼史 南 健太郎	10:40 循環器病対策推進セッション 循環器病対策関連 脳卒中・心臓病等総合支援センター で心臓病支援を繋ぐ 演者：磯部 光章 猪又 孝元 中村 文隆 石津 智子 中山 敦子	10:15 一般演題4 先天性/川崎病 P16
12:10	P6	12:10 P11	10:25 一般演題5 不整脈1 P16
12:20	ランチョンセミナー1 Dual Source CTによる循環器診療update ～Photon-counting CT & EID-CT～ 演者：大滝 裕香 西村 卓郎	12:20 ランチョンセミナー2 榎原流ハートチーム戦略と連携 「進化するMCS治療、そのフロントライン」 演者：樋口 売介 中原 嘉則 13:10 共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン メドテック	11:10 一般演題6 不整脈2 P17
13:10	共催：シーメンスヘルスケア P6	P12	12:20 ランチョンセミナー3 心アミロイドーシス UP TO DATE 演者：梅本 朋幸 遠藤 仁 共催：ファイザー
13:20	教育セッションII 循環器医が学ぶ集中治療管理：最新の心原性ショック(CS)管理を識る 演者：中田 淳 深町 大介 岩花 東吾	13:20 成人先天性心疾患セッション (日本循環器学会学術委員会教育セッション) 症例から学ぶACHD ガイドライン推奨診療 演者：久保田 香菜 小平 真幸 常盤 洋之 町野 智子	13:10 学術委員会企画セッション 心電図を学び直そう 基礎から応用まで (若手医師～コメディカル向けの 心電図講座の企画) 演者：新井 陸 大島 一太
14:50	P7	14:50 P12	14:50 P18
15:00	デザートセミナー1 siRNAが切り拓くATTR心アミロイドーシス 治療の新時代 演者：谷澤 宏樹 横山 直之	15:00 デザートセミナー2 SGLT2阻害薬に関する最新の話題 演者：候 聰志 共催：日本ベーリングガーインゲルハイム	15:00 デザートセミナー3 これからのかのTAVIの展望 演者：成井 崇朗 三浦 瑞樹 共催：エドワーズライフサイエンス
15:50	共催：Alnylam Japan P7	15:50 P12	15:50 P18
16:00	Student Award	16:00 Case Report Award	16:00 デザートセミナー6 AS診療におけるスクリーニングと 治療の最前線 演者：佐地 真育 樋口 売介 共催：日本メドトロニック P18
16:50	P7	16:50 P12	16:50 P18
17:00	Resident Award	17:05 Clinical Research Award	
18:00	P8	17:55 P13	
18:00	閉会挨拶		
18:05	評議員会		

## 【専門医単位登録に関して】

専門医単位に関するセッション（地方会参加単位、教育セッション）は、セッション開始前に単位登録手続デスクへお越しくださいますようお願い申し上げます。

セッション終了後には単位のご登録ができないためご留意ください。

また地方会参加単位登録（5単位）、教育セッション（3単位）はそれぞれ単位の登録手続きを行っていただく必要がございます。

お手数ではございますがそれぞれの単位のご登録をお願いいたします。

■ 「地方会参加単位」（5単位）受付時間 9:00～18:00（開催終了まで）

■ 「教育セッション」（3単位）受付時間 10:10～11:40／12:50～14:20／14:30～16:00（開始30分前から終了30分前まで）

	第Ⅳ会場	第Ⅴ会場	第Ⅵ会場
9:00	一般演題7 虚血性心疾患1 P19	9:00 一般演題1 1 弁膜症1 P24	9:00 東京都脳卒中心臓病等総合センター事業/ 東京都心リハネットワークジョイントセッション “今日から使える”運動処方 — 実践型・心リハ導入セッション 演者：中山 敦子 加藤 純子 牛島 明子 小野 剛 竹中 真規 P29
9:45	一般演題8 虚血性心疾患2 P20	9:45 一般演題1 2 弁膜症2 P24	10:10
10:35	一般演題9 虚血性心疾患3 P20	10:20 一般演題1 3 心筋炎・心筋症1 P25	10:20 一般演題1 5 デバイス P29
11:30	一般演題10 心内膜炎 P21	11:15 一般演題1 4 心筋炎・心筋症2 P26	11:05
12:10	ランチョンセミナー4 リードマネジメントを知る 演者：合屋 雅彦 井上 完起 共催：日本ライフライン P22	12:20 ランチョンセミナー5 心不全と心房細動～早期介入の重要性と 生命予後改善にむけて～ 演者：徳田 道史 共催：アストラゼネカ P27	11:10 ベストティーチャー生LIVE (地方会あり方検討委員会企画セッション) 「若手医師や学生に聞く講義を学ぶ -Part 2-」 演者：立石 実 新井 陸 P30
13:10	会長企画セッションII SHDインターベンションの将来展望 を知る：大動脈弁、僧帽弁、三尖弁 膜症について 演者：森山 典晃 佐地 真育 棄田 真吾 P22	13:20 第26回ダイバーシティ・フォーラム/ 第7回 U-40部会企画セッション 循環器アカデミー vol. 2 “明日から役立つ救急対応編” 演者：池田 和也 峯岸 美智子 松井 優子 P27	12:20 ランチョンセミナー6 ガイドラインだけでは語れない 心不全診療 演者：白石 泰之 共催：バイエル薬品 P30
14:50	デザートセミナー4 アブレーションにおけるViewFlex ICEと EnSite X Contact IndexとPercloseの有効性 演者：河村 岩成 桑原 大志 共催：アボットメディカルジャパン P22	14:50 15:00 デザートセミナー5 安定冠動脈疾患におけるマルチモダリティ 評価の最適化：エビデンスに基づく意思決定 演者：相川 忠夫 共催：P D R ファーマ P27	13:20 一般演題1 6 大動脈 P31
15:00	デザートセミナー7 肥大型心筋症治療のトータルマネジメント 演者：出雲 昌樹 高見澤 格 共催：ブリストル・マイヤーズスクイブ P23	15:50 16:00 デザートセミナー8 「冠動脈疾患に対する積極的脂質低下療法up to date」～一次予防・二次予防を含む包括 的脂質管理～ 演者：沼澤 洋平 共催：アムジェン P27	14:00 一般演題1 7 心臓・腫瘍/静脈 P31
15:50		16:50 17:00 研修医セミナー 若手循環器医のNext step!海外学会発 表と留学のリアルストーリー： 海外留学を実現、成功させるには？ 演者：石田 純一 山口 徹雄 P27	15:00 教育セッションIII 榎原記念研究助成プログラム 第21回特別講演 『循環器医療の提供体制： 現状と今後の課題』 演者：鶴田 真也 新井 悟 上田 哲郎 P32
16:00		18:00	16:30
16:50			

## 第Ⅰ会場

### 会長企画セッションⅠ

9:00-10:30

座長（榎原記念病院放射線科）  
座長（三井記念病院循環器内科）

大滝 裕香  
田邊 健吾

#### イメージングを診断・治療に生かす

##### PVL評価とValve Fractureを含む人工弁不全介入におけるCT活用

(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 橋本 剛  
和賀 早理、原 英彦

##### 僧帽弁治療における画像診断の重要性

(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 金子 智洋

##### 肥大型心筋症の診断・治療戦略における心臓 CT の意義

(榎原記念病院循環器内科)  
(榎原記念病院放射線科)  
(榎原記念病院附属クリニック) 泉 佑樹  
大滝 裕香  
井口 信雄

### 教育セッションⅠ

10:40-12:10

座長（榎原記念病院循環器内科） 関口 幸夫  
座長（東京科学大学循環器内科） 田尾 進

#### 最新の不整脈診療を学ぶ

##### リードレスペースメーカーの新たな展開

(筑波大学医学医療系循環器内科) 山崎 浩

##### 突然死予防の新たな選択肢 血管外植込み型除細動器（EVICD）

(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科/不整脈科) 池田 礼史

##### パルスフィールドアブレーションによる左房後壁隔離

(獨協医科大学心臓・血管内科/循環器内科) 南 健太郎  
安宅威久男、井上 弘貴、飯田圭太生、齋藤 郁太、  
北川 善之、中島 敏夫、豊田 茂

### ランチョンセミナーⅠ

12:20-13:10

共催：シーメンスヘルスケア株式会社

座長（東邦大学医学部東邦大学医療センター大森病院内科学講座循環器内科分野）中西 理子

#### Dual Source CTによる循環器診療 update ~ Photon-counting CT & EID-CT ~

##### 心臓CTをもっと使いこなす：Dual Source CTで学ぶ冠動脈・構造的心疾患の撮影と読影ポイント

(榎原記念病院放射線科) 大滝 裕香

##### 心室性不整脈基質の可視化：Photon-counting CTがもたらすインパクト

(東京科学大学病院循環器内科) 西村 卓郎

## 教育セッションⅡ

13:20-14:50

座長 (榎原記念病院循環器内科) 樋口 亮介

座長 (日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 山本 剛

### 循環器医が学ぶ集中治療管理：最新の心原性ショック(CS)管理を識る

CS 重症度分類とタイピングを識る

(日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 中田 淳

心原性ショック合併のAMIに立ち向かう

(日本大学病院循環器内科) 深町 大介

HF CS管理(治療)を識る

(千葉大学医学部附属病院循環器内科) 岩花 東吾

デザートセミナー 1

15:00-15:50

共催 : Alnylam Japan株式会社

座長 (順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科) 磯田 菊生

### siRNAが切り拓く ATTR心アミロイドーシス治療の新時代

CTで紐解く心筋硬化の真実 -HFpEFに潜むアミロイドーシス診断の最前線-

(昭和医科大学病院循環器内科) 谷澤 宏樹

ATTRアミロイドーシスの早期診断の重要性 ~適応追加になったアムバトラの活用法を考える~

(帝京大学医学部附属病院臨床検査医学) 横山 直之

### Student Award

16:00-16:50

座長 (三井記念病院循環器内科) 田邊 健吾

座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 香坂 俊

審査委員長 (昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎

審査委員 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 藤田 英雄

審査委員 (国立国際医療研究センター病院循環器内科) 廣井 透雄

審査委員 (獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科) 豊田 茂

I-1 寛解期の婦人科癌患者における静脈血栓塞栓症の再発率とリスク因子：TULIPEレジストリを用いた後方視的解析

(筑波大学医学群医学類/国立がん研究センター東病院循環器科) 岡村 結

(国立がん研究センター東病院循環器科/墨東病院循環器内科) 石塚 祐紀

(国立がん研究センター東病院循環器科/筑波大学グローバル教育院ライフイノベーション学院プログラム)

(日高病院臨床検査室) 田尻 和子

内藤 博之

(国立がん研究センター東病院臨床検査部) 村田 桃子

(筑波大学医学医療系循環器内科) 町野 智子、石津 智子

I-2 誤嚥性肺炎に併発した局所型たこつぼ症候群の1例

(聖マリアンナ医科大学医学部) 遠藤 光輝

(聖マリアンナ医科大学循環器内科) 貝原 俊樹、齊藤 亜実、石垣 彩、奥野 泰史、

棄田 真吾、出雲 昌樹、明石 嘉浩

I-3 後天性心膜ヘルニアに伴う冠動脈圧排により急性冠症候群を呈した一例

(千葉大学医学部医学科) 吉沢 康隆

(千葉大学医学部附属病院循環器内科) 立石 和也、都田 昂、八島 聰美、江口 紀子、

齊藤 佑一、加藤 賢、北原 秀喜、高岡 浩之、

小林 欣夫

I-4 心房中隔欠損修復術後に肺動脈性肺高血圧症を発症した若年患者の一例

(順天堂大学医学部医学科) 平田 愛

(順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学講座) 加藤 隆生、金子 智洋、内藤 亮、宮崎彩記子、

林 英守、南野 徹

(順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学講座/順天堂大学医学部臨床遺伝学研究室) 後藤 景子

I-5 カテーテルアブレーション後のPost-Cardiac Injury Syndrome発症を契機に診断された再発性多発軟骨炎の1例

(杏林大学医学部) 宇塚 天音

(杏林大学医学部付属病院循環器内科) 西尾 智、勝目 有美、池脇 宏嗣、合田あゆみ、

富樫 郁子、上田 明子、松尾征一郎、河野 隆志、

村田 光繁、佐藤 俊明、副島 京子

(杏林大学医学部付属病院膠原病内科) 岸本 暁将

(杏林大学感染症科) 嶋崎 鉄兵

Resident Award

17:00-18:00

座長 (日本大学病院循環器内科) 松本 直也

座長 (帝京大学医学部心臓血管外科) 下川 智樹

審査委員長 (帝京大学医学部内科学講座・循環器内科) 上妻 謙

審査委員 (東京医科大学病院循環器内科) 里見 和浩

審査委員 (横浜市立大学医学部循環器内科学) 日比 潔

審査委員 (群馬大学医学系研究科内科学講座循環器内科学分野) 石井 秀樹

I-6 二尖弁合併大動脈弁狭窄症に対し経中隔による順行性弁通しを採用してTAVRを成功させた一例

(長野赤十字病院) 鈴木 暁英

(長野赤十字病院循環器内科) 中嶋 博幸、依田 英貢、由井 寿典、中村 千枝、

橋詰 直人、浦澤 延幸、臼井 達也、戸塚 信之、

宮下 裕介、吉岡 二郎

I-7 急性前壁中隔心筋梗塞を契機に診断された内部に大量の血栓を伴う左主幹部巨大冠動脈瘤の一例

(国際医療福祉大学成田病院循環器内科) 益子 弘文

福岡 良磨、藤本 善英、中山 崇、杉村宏一郎、

谷本 陽子、谷本耕司郎、河村 朗夫

I-8 冠動脈ステント留置後に再狭窄を繰り返した掌蹠膿疱症・金属アレルギーの一例

(南長野医療センター篠ノ井総合病院臨床研修科) 皆川 健斗

(南長野医療センター篠ノ井総合病院循環器内科) 平森 誠一、依田 望、田畠 裕章、丸山 拓哉、

小林 隆洋、小塚 綾子、矢彦沢久美子

I-9 心筋梗塞後心室中隔穿孔における手術待機期間延長を目的にしたECPELLAの効果

(自治医科大学附属病院卒後臨床研修センター) 松本 麻希

(自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 斎藤 俊祐、渡辺 直生、小古山由佳子、

清水 勇人、大場 祐輔、石山 裕介、原田 顯治、

苅尾 七臣

I-10 外科的大動脈弁位生体弁のHALTにより繰り返しST上昇型心筋梗塞を発症した一例

(聖マリアンナ医科大学病院臨床研修センター) 小川 智成

(聖マリアンナ医科大学病院循環器内科) 曽根 啓太、小徳のぞみ、村松 和樹、関口 将大、

桑田 真吾、出雲 昌樹、田邊 康宏、明石 嘉浩

I-11 M-TEER後に一過性心機能低下と心電図変化を呈した一例

(横浜市立大学附属市民総合医療センター臨床研修医) 新田 太郎

(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 松下 純介、吉井 智洋、寺坂 謙吾、服部 京子、

菊地進之介、郷原 正臣、岡田 興造、岩橋 徳明、

小菅 雅美

日比 潔

加藤 真吾

海老名俊明

(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科/横浜市立大学医学部循環器内科学教室)

(横浜市立大学医学部放射線診断科)

(横浜市立大学附属市民総合医療センター臨床検査部)

## 第Ⅱ会場

### 一般演題 セッション1 心不全1

9:00-9:45

座長（防衛医科大学校循環器内科） 長友 祐司

座長（千葉大学医学部附属病院循環器内科） 岩花 東吾

コメンテーター（東京大学大学院医学系研究科先端循環器医科学講座） 戴 哲皓

#### II-1 携帯型体液変動測定機器による最適化された慢性心不全に対する水分制限治療の開発

（筑波大学サニクス研究センター/医学医療系/ひたちなか総合病院脳神経外科） 鶴嶋 英夫

（日本電気株式会社バイオメトリックス研究所） 赤松 祐亮、梅松 旭美、中原謙太郎

#### II-2 大動脈弁逆流症と高血圧を合併した混合性SASに対しASV療法が奏功した一例

（東邦大学医療センター大橋病院） 和賀 早理

橋本 剛、齋藤 充宏、井出 志穂、池田 長生、

原 英彦

#### II-3 通所リハビリにおける呼吸筋トレーニングにより運動耐容能の改善を認めた高齢心不全症例

（座間総合病院医療技術部） 吉川 翔也

#### II-4 低左心機能患者に対する洞調律化による運動耐容能改善効果を心肺運動負荷試験で評価した一例

（順天堂大学医学部附属浦安病院循環器内科） 安田 友紀

関根 智子、小林茉莉子、金井 彩音、原 晴彦、

土井 健太、都丸 雅人、鈴木 隆誠、住吉 まり、

石井 開、阿部 寛史、牧 正彬、柿原 翠、

島井 亮輔、磯貝 浩之、尾崎 大、高須 清、

小田切史徳、高村 和久、宮崎 哲朗、戸田 隆司

#### II-5 Leriche症候群に対しバイパス術後の心停止患者に、人工血管グラフトへ送血管を挿入しVA-ECMOを導入した1例

（東京ベイ市川浦安医療センター循環器内科） 片山 美咲

浅野 和宏、 笹本 晃、古川 亜美、小林 哲也、

小島 俊輔、村石真起夫、野口 将彦、仲間 達也、

小船井光太郎

#### II-6 難治性心室細動に対してVA-ECMOを導入し、下腿コンパートメント症候群と横紋筋融解症を発症した一例

（埼玉病院循環器内科） 平山 愛子

佐藤 篤志、松村 圭祐、小野 智彦、鶴見 昌史、

田中 宏明、丹羽 直哉、栗原 和人、磯田 徹、

井合 渉、山岡 広季、佐久間一也、片山 大樹

### 一般演題 セッション2 心不全2

9:55-10:30

座長（東京都立広尾病院） 田中 博之

座長（順天堂大学大学院医学研究科循環器内科） 中出 泰輔

コメンテーター（東邦大学医療センター大森病院循環器内科） 大久保 亮

#### II-7 完全左脚ブロックを呈した左室駆出率低下型心不全症例に対するガイドライン推奨治療導入の効果

（榎原記念病院） 本康 宗佳

細谷 弓子、林 洋介、浅野 奏、関口 幸夫、

井上 完起、七里 守、新田 順一、磯部 光章

II-8 新規手法を用いた非侵襲的な血行動態指標測定の検討

(東京大学医学部附属病院) 古澤 樹  
皆月 隼、廣瀬 和俊、石原 達彦、末綱 哲士、  
野口 智裕、真鍋 雄二、蛭間 貴司、小林 敦、  
加門 辰也、篠原 宏樹、桐山 皓行、齊藤 曜人、  
小寺 聰、武田 憲彦

II-9 肥満を合併したHFpEFの診断、運動耐容能、予後との検討

(沼田脳神経外科循環器科病院リハビリテーション課/群馬大学医学部附属病院循環器内科) 谷 友太  
(群馬大学医学部附属病院循環器内科) 小保方 優、鏡 和樹、湯浅 直紀、原田 智成、  
村上 司、奥野 隆祐、石井 秀樹

II-10 収縮性心膜炎に対し心膜剥離術にwaffle incisionを追加施行し拡張障害の改善を得た一例

(上尾中央総合病院循環器内科) 金沢 舞香  
宮崎 至、田中小百合、李 烂熙、鍵山弘太郎、  
小橋 啓一、中野 将孝、谷本 周三、緒方 信彦、  
一色 高明  
(上尾中央総合病院心臓血管外科) 堀 大治郎、山本 貴裕、柿内 健志

II-11 経皮的内胸動脈塞栓術が著効した左内胸動脈グラフト-右室巨大シャントを伴う重症心不全の一例

(虎の門病院循環器内科) 中村 瞬  
森瀬 昌裕、大森 奈美、伊東 秀崇、小宮山知夏、  
播磨 綾子、新津理英子、山口 徹雄、西山 信大、  
藤本 陽、児玉 隆秀  
(虎の門病院放射線診断科) 谷島 智哉、伊藤 大輔

循環器病対策推進セッション

10:40-12:10

座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子  
座長 (自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学兼循環器内科学) 桑原 攻成

循環器病対策関連 脳卒中・心臓病等総合支援センターで心臓病支援を繋ぐ

循環器病対策推進基本計画と東京都の総合支援センター活動

(榎原記念病院) 磯部 光章  
中山 敦子  
(日本医科大学循環器内科) 浅井 邦也  
(日本医科大学心臓血管集中治療科) 山本 剛  
(武藏野赤十字病院) 足利 貴志

「にいがた脳心センター、初年度を振り返る」

(新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学分野) 猪又 孝元

千葉県における循環器病対策推進の取り組み ~第2期循環器病対策推進基本計画策定を受けて~

(帝京大学ちば総合医療センター第三内科) 中村 文隆  
(千葉大学大学院医学研究院循環器内科学) 小林 欣夫  
(千葉大学大学院医学研究院心臓血管外科学) 松宮 譲郎

茨城県ハート連の進捗報告

(筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子

脳卒中心臓病等総合支援センター事業における心臓病両立支援ネットワーク-いまとこれから

(榎原記念病院循環器内科) 中山 敦子

ランチョンセミナー 2 12:20-13:10 共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン メドテック

座長（三井記念病院） 田邊 健吾

榎原流ハートチーム戦略と連携「進化するMCS治療、そのフロントライン」

MCS治療の分岐点：インペラ導入判断とハートチーム連携の実際

(榎原記念病院) 橋口 亮介

外科領域で広がる可能性～Impella supported CABGで見えてきた未来～

(榎原記念病院) 中原 嘉則

成人先天性心疾患セッション（日本循環器学会学術委員会教育セッション）

13:20-14:50

座長（筑波大学医学医療系循環器内科）石津 智子

座長（東京都立小児総合医療センター）山岸 敬幸

症例から学ぶACHDガイドライン推奨診療

完全・修正大血管転位の成人期診療

(自治医科大学附属病院循環器内科) 久保田香菜

機能的単心室・Fontan術後

(慶應義塾大学病院循環器内科) 小平 真幸

ACHDに合併する肺高血圧の治療戦略

(東京大学医学部附属病院循環器内科) 常盤 洋之

ACHDの感染性心内膜炎

(筑波大学医学医療系循環器内科) 町野 智子

デザートセミナー 2

15:00-15:50

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

座長（榎原記念病院循環器内科）細谷 弓子

SGLT2阻害薬に関する最新の話題

心不全診療の現状と課題

(東京大学大学院医学系研究科先端循環器医科学講座) 候 聰志

Case Report Award

16:00-16:50

座長（日本大学医学部内科学系循環器内科学分野）奥村 恭男

座長（榎原記念病院循環器内科）七里 守

審査委員長（新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学）猪又 孝元

審査委員（北里大学医学部循環器内科学）阿古 潤哉

審査委員（東京科学大学循環器内科） 笹野 哲郎

審査委員（慶應義塾大学医学部循環器内科）家田 真樹

II-12 抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎に対する免疫抑制療法が著効した難治性心室性不整脈、低心機能の一例

(東京大学医学部附属病院循環器内科) 山下 貴大

八木 宏樹、清水 悠、山形研一郎、皆月 隼、

石田 純一、網谷 英介、波多野 将、武田 憲彦

(東京大学医学部附属病院神経内科) 前田 明子

- II-13 保存的加療により改善した心外膜アブレーション後に発症した滲出性収縮性心膜炎の一例  
 (筑波大学附属病院循環器内科) 小林 大輝  
 本田 幸弥、松岡 勇樹、佐藤 希美、小松 雄樹、  
 石津 智子
- II-14 冠動脈造影で異常を認めなかった自然発症冠動脈解離による突然死の剖検例  
 (昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 大島 研  
 関本 輝雄、新家 俊郎  
 (昭和医科大学医学部法医学講座) 松山 高明  
 (昭和医科大学藤が丘病院循環器内科) 沼尻 祐貴、森 敬善、鈴木 洋
- II-15 失神を契機に診断された冠攣縮性狭窄症に好酸球性心筋炎を合併しKounis症候群が疑われた1例  
 (自衛隊中央病院循環器内科) 田中 里沙  
 荒川 純子、杭ノ瀬和彦、水谷 航太、知識 俊樹  
 (三宿病院循環器内科) 谷口 晋也、西田 尚史
- II-16 LVOT閉塞を合併した重症ASに対するTAVI:TAVI後にLVOT閉塞が増悪しPTSMAを行った一例  
 (榎原記念病院循環器内科) 外田 望  
 樋口 亮介、舟木 孝志、泉 佑樹、北村 光信、  
 高見澤 格、七里 守、磯部 光章  
 (榎原記念病院心臓外科) 大野 真
- Clinical Research Award**  
**17:05-17:55**
- 座長 (獨協医科大学日光医療センター心臓・血管・腎臓内科) 前嶋 康浩  
 座長 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 武田 憲彦  
 審査委員長 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 池田 隆徳  
 審査委員 (信州大学循環器内科) 桑原宏一郎  
 審査委員 (東京女子医科大学循環器内科) 山口 淳一  
 審査委員 (日本医科大学武蔵小杉病院総合診療科) 塚田(哲翁)弥生
- II-17 在宅静注強心薬持続投与療法の実態と予後:重症心不全100例の多施設後ろ向き観察研究  
 (ゆみのハートクリニック訪問診療部) 竹内 充裕  
 (医療法人社団ゆみの) 土肥 智貴、鬼村 優一、武居 講、小出 雅雄、  
 岡田健一郎、鈴木 豪、肥後 太基、田中 宏和、  
 弓野 大
- II-18 入院HFpEF患者への退院時β遮断薬の是非は年齢で考える  
 (埼玉医科大学総合医療センター心臓内科) 橋本 淳貴  
 村上 司、内藤珠美乃、堀澤 優介、吉川 公基、  
 上嶋 紗瑛、沼賀 美紀、米山 史華、北川 快、  
 志賀野航生、家村 優、小形 円香、谷 昂大、  
 河原 勇貴、奥田 希子、安藤 敏行、小宮山英徳、  
 石原 嗣郎、重城健太郎
- II-19 心血管疾患患者における婚姻と死亡リスクの関連:大規模CPXコホートにおける検討  
 (高崎総合医療センター心臓血管内科) 高橋 伸弥  
 飯塚 拓巳、高橋 洋右、大駒 直也、柴田 悟、  
 羽鳥 直樹、小林 紘生、村田 智行、太田 昌樹、  
 福田 延昭、広井 知歳

II-20 遠隔期のペースメーカー必要性予測における経皮的中隔心筋焼灼術後早期の造影CTの有用性  
(榎原記念病院循環器内科) 河合 冬星  
北村 光信、西郡 卓、泉 佑樹、高見澤 格、  
七里 守、井口 信雄、磯部 光章、高山 守正

II-21 経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)後脳梗塞の特徴と生命予後  
(帝京大学医学部内科学講座循環器内科) 濑尾 和優  
三浦 瑞樹、佐久間 泉、Enrico Paolo Legaspi、  
齋藤 仁文、大宮 譲、笛島 佑、鬼頭 健人、  
荒川 雅崇、井関 洋成、筒井 健太、片岡 明久、  
渡邊 雄介、上妻 謙

## 第Ⅲ会場

### 一般演題 セッション3 肺高血圧/その他/全般的問題

9:00-9:45

座長（聖路加国際病院循環器内科） 椎名 由美  
座長（JR東京総合病院循環器内科） 高橋 政夫  
コメンテーター（榎原記念病院循環器内科） 北村 光信

#### Ⅲ-1 病理解剖で診断に至った本態性血小板血症に伴う肺高血圧症の1例

（湘南藤沢徳州会病院循環器内科） 黒坂 祐太  
村井 貴裕、大西 正寛、永井 誠大、九鬼有克子、  
赤坂 武、石川 典由、山岸 民治  
(自治医科大学付属埼玉医療センター病理診断科) 竹村 杏奈

#### Ⅲ-2 糖尿病性ケトアシドーシスに続発した劇症型肺血栓塞栓症に対し、集学的治療により救命した一例

（船橋市立医療センター臨床研修センター） 小倉 結希  
(船橋市立医療センター心臓血管センター循環器内科) 青山 里恵、堀江 華奈、須藤 洋尚、丘 慎清、  
飯高 一信、岩田 曜、石脇 光、沖野 晋一、  
福澤 茂

#### Ⅲ-3 腹部大動脈瘤フォロー中に偶発的に発見された冠動脈壁肥厚からIgG4関連疾患の診断に至った一例

（多摩総合医療センター循環器内科） 山田 秀悟  
三ツ橋佑哉、細野 将太、西岡 拓哉、飯島 千博、  
藤井 駿、田中 酷佳、中村 文紀、三輪 裕仁、  
守井 悠祐、櫻井進一朗、宮部 倫典、神島 一帆、  
磯貝 俊明、加藤 賢

#### Ⅲ-4 未破裂紡錘状冠動脈瘤に対してステントアシスト下コイル塞栓術を試みた症例

（公立昭和病院循環器内科） 金子 翔太  
岡田 健助、渡邊さくら、新井 諒一、村上 貴彦、  
松永 紘、朝田 一生、大森 康歳、石原有希子、  
鴨井 祥郎、田中 茂博

#### Ⅲ-5 経皮的椎体形成術後の骨セメント流出により遅発性の右室穿孔と心タンポナーデを開心術により救命し得た一例

（日本大学病院循環器内科） 濱戸口俊貴  
深町 大介、岩田良太郎、松永 悠路、平田 萌、  
大塚 直人、門傳 昌樹、横山 勝章、松本 直也  
(日本大学病院心臓血管外科) 北住 善樹、大場 正直、田岡 誠  
(日本大学医学部内科学系循環器内科分野) 奥村 恭男  
(日本大学病院整形外科) 上井 浩

#### Ⅲ-6 慢性心不全・慢性腎臓病患者を有する超高齢男性に早期リハビリテーション介入した一例：筋機能変化の調査

（座間総合病院医療技術部リハビリテーション科） 中ノ瀬 剛  
豊田 裕司

一般演題 セッション4 先天性/川崎病

9:50-10:15

座長（日本大学医学部附属板橋病院総合診療学分野）高山 忠輝

座長（杏林大学医学部付属病院循環器内科）野々口紀子

コメンテーター（神原記念病院循環器内科）木島 康文

III-7 肺血栓塞栓症を契機にPlatypnea-Orthodeoxia Syndromeの早期診断に至り経皮的卵円孔閉鎖術を施行した1例

（筑波記念病院循環器内科）

山本 正浩

木全 啓、中根 啓貴、内田 靖人、新居 秀郎、

上原 裕規、井川 昌幸、榎本 強志

（筑波大学附属病院循環器内科）

佐藤 希美、町野 智子

III-8 経皮的卵円孔開存閉鎖術を実施したものの脳梗塞様の症状と画像所見を繰り返した若年男性の一例

（土浦協同病院循環器内科）

渡邊 匠

臼井 英祐、金地 嘉久、上野 弘貴、左山 耕大、

渡邊 崇弘、村上 理子、廣井 駿太、細川 凱生、

角田 恒和

（土浦協同病院脳神経内科）

町田 明

III-9 川崎病後両側冠動脈瘤閉塞で来院した1例

（横浜市立大学市民総合医療センター）

西竹 美緒

花島 陽平、堤 勝彦、菊地進之介、中橋 秀文、

松下 純介、郷原 正臣、木村裕一郎、岡田 興造、

岩橋 徳明、小菅 雅美、海老名俊明

日比 潔

（横浜市立大学市民総合医療センター / 横浜市立大学附属病院）

一般演題 セッション5 不整脈1

10:25-11:10

座長（慶應義塾大学医学部循環器内科）木村 雄弘

座長（前橋赤十字病院心臓血管内科）庭前 野菊

コメンテーター（君津中央病院循環器内科）石村 昌之

III-10 稀有な興奮様式を呈した心房期外収縮の一例

（新百合ヶ丘総合病院循環器内科）

田仲 明史

高橋 良英、秋元 耕、原 果里奈、内藤 倫人、

西尾 祥郎、工藤 侃、山上 洋介、櫻井 馨

（東京科学大学循環器内科）

笠野 哲郎

III-11 長期のリチウム内服に伴うリチウム中毒で洞不全症候群を発症した一例

（亀田総合病院）

松田 恵実

水上 晓

III-12 診断と治療に難渋した左側潜在性副伝導路通電後に出現したFast-slow型房室結節リエントリー性頻拍の一例

（東京ハートサミット東京心臓不整脈病院循環器内科）

臼井 隆一

野上 昭彦、小田 優香、鵜野起久也

III-13 抗NXP2抗体陽性皮膚筋炎に合併したtorsade de pointesを伴うQT延長症候群の一例

（亀田総合病院）

大川 雄生

篠崎 智哉、高野 寿一、大野 真紀、植島 大輔、

水上 晓

III-14 反復する失神発作をきたした中咽頭癌の一例

(昭和医科大学藤が丘病院循環器内科)

井関 彩乃

南雲さくら、磯 良崇、江波戸美緒、鈴木 洋

III-15 虚血性心筋症に併発した非持続性心室頻拍に対するアミオダロン投与により甲状腺中毒症を来たした一例

(日本医科大学付属病院循環器内科)

築山 寛

岩崎 雄樹、鈴木 啓士、谷口 清和、谷 建斗、

三室 嶺、関 俊樹、浅井 邦也

一般演題 セッション6 不整脈2

11:20-12:05

座長 (日本赤十字社医療センター循環器内科) 小島 敏弥

座長 (国際医療福祉大学成田病院循環器内科) 谷本 陽子

コメンテーター (東京通信病院循環器内科) 福永 寛

III-16 パルスフィールドアブレーションによる肺静脈隔離完成後に左上肺静脈内から左房への電気的伝導を認めた2例

(公立昭和病院循環器内科)

村上 貴彦

朝田 一生、岡田 建助、松永 紘、大森 康歳、

石原有希子、鴨井 祥郎、田中 茂博

III-17 心房細動へのパルスフィールドアブレーション後に無症候性急性心膜炎を発症した一例

(榊原記念病院循環器内科)

天海 一明

新田 順一、浅野 奏、林 洋介、関口 幸夫、

井上 完起、磯部 光章

III-18 大動脈弁置換術後慢性期に発症した薬物治療抵抗性心室頻拍に対してアブレーションを施行した一例

(横浜市立大学医学部医学科)

川俣 夏瑛

(横浜市立大学附属病院循環器内科)

田口 有香、山田 優、石井 怜、堀米 旭、

細田 順也、石川 利之、日比 潔

III-19 短期間に失神を繰り返した特発性心室頻拍に対しカテーテルアブレーションが奏功した中年女性の一例

(山梨大学医学部)

佐藤 百華

(山梨大学医学部付属病院)

齋藤 悅平、黒木 健志、市川 優真、宮原 徳也、

後藤 剛顕、朝比奈千沙、須藤 洋司、出山順太郎、

中村 貴光、佐藤 明

III-20 電気生理学的検査により僧帽弁輪起源心房頻拍と診断した拡張型心筋症を背景とする非通常型心房粗動の一例

(北里大学病院循環器内科)

堤 亜加理

荒川 雄紀、新開 渉、虎岩めぐみ、小林 周平、

中村 洋範、石末 成哉、及川 淳、岸原 淳、

深谷 英平、阿古 潤哉

III-21 パルスフィールドアブレーションによる上大静脈隔離術で洞停止を認めた一例

(広尾病院循環器科)

和泉 碧葉

山岡広一郎、鈴木千紗都、松山 恭平、本間 正直、

横関 文弥、三浦麻利衣、神崎 拓、砂川 昌隆、

水沼 吉章、佐々木高史、鯨岡 裕史、新井 智之、

吉田 精孝、笠野 健介、高橋 正雄、北條林太郎、

土山 高明、深水 誠二

ランチョンセミナー 3

12:20-13:10

共催：ファイザー株式会社

座長（榎原記念病院附属クリニック）井口 信雄

心アミロイドーシス UP TO DATE

手根管症候群・腱板断裂から見つけるATTR-CM

～整形外科と循環器内科の協働による早期診断ストラテジー～

(東京科学大学大学院医歯学総合研究科循環制御内科学) 梅本 朋幸

ATTR-CM診療のパラダイムシフト

(慶應義塾大学医学部循環器内科) 遠藤 仁

学術委員会企画セッション

13:20-14:50

座長（国際医療福祉大学大学院）

栗田 康生

心電図を学び直そう 基礎から応用まで（若手医師～コメディカル向けの心電図講座の企画）

ST 変化の鑑別をマスターしよう

(日本大学医学部附属板橋病院循環器内科) 新井 陸

日常診療で見逃せない12誘導心電図の読み方

(大島医院循環器内科) 大島 一太

デザートセミナー 3

15:00-15:50

共催：エドワーズライフサイエンス合同会社

座長（群馬県立心臓血管センター循環器内科）河口 廉

これからのTAVIの展望

データで振り返るTAVIの最新Topics

(榎原記念病院循環器内科) 成井 崇朗

拡がり続けるTAVIの適応～紹介するべき患者とタイミングを考える～

(帝京大学医学部附属病院循環器内科) 三浦 瑞樹

デザートセミナー 6

16:00-16:50

共催：日本メドトロニック株式会社

座長（横浜市立大学医学部循環器内科学）日比

潔

AS 診療におけるスクリーニングと治療の最前線

超聴診器を用いたTAVR術中の評価

(東邦大学医療センター大森病院) 佐地 真育

PCI after TAVIのTips & Tricks : TAVI後ACSに備える

(榎原記念病院) 横口 亮介

## 第IV会場

### 一般演題 セッション7 虚血性心疾患 1

9:00-9:45

座長（榎原記念病院循環器内科） 萩谷 健一

座長（日本大学医学部附属板橋病院循環器内科） 新井 陸

コメンテーター（新潟大学医歯学総合病院循環器内科） 西田 耕太

IV-1 左主幹部の高度石灰化病変に対してrotational atherectomyおよびlithotripsyを併用し有用であった症例  
(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 吉田 雪徒

陣内 博行、坂倉 建一、衣川 瑞人、瀬口 優、  
津久井卓伯、渡邊 裕介、笠原 卓、石橋 峻、  
藤田 英雄

IV-2 Aorto Ostial病変においてstentingに難渋したACS症例

(新松戸中央総合病院) 水戸川泰士  
(イムス東京葛飾総合病院) 小松 宏貴、稻田 沙知、山岡 英功、高藤 広弥、  
白浜 尚治、進藤 一紘、日置 純文、仲村 佳典、  
横山 健、朴沢 英成

IV-3 金属アレルギーによりステント内再狭窄を繰り返した症例

(自治医科大学附属病院循環器内科学) 村田 侑紀  
鈴木 規泰、佐藤 雅史、小林 久也、大場 祐輔、  
小吉山由佳子、清水 勇人、苅尾 七臣

IV-4 大動脈弁輪拡張症術後Central ECMO離脱困難例における1POD STEMIに対しステント留置し救命し得た一例

(防衛医科大学校病院循環器内科) 中島 侑政  
小西 崇夫、植野 達也、大原 悠、仲西 雄大、  
木村 大地、宮内 瑛、菊池 恭史、前川原愛実、  
漆島 司、大堀 正則、内藤 薫、廣田 彰子、  
池上 幸憲、長友 祐司、足立 健  
(防衛医科大学校病院循環器内科/防衛医科大学校病院集中治療部) 安田理紗子、眞崎 暢之  
(防衛医科大学校病院心臓血管外科) 石田 治、堤 浩二

IV-5 VerifyNowに基づく抗血小板薬変更が奏功した亜急性ステント血栓症の一例

(東京科学大学病院循環器内科) 江口 葵  
菅野 義典、荒木 誠、新井 亮太、角田 貴大、  
高橋 健、松田 祐治、星野 昌弘、杉山 知代、  
梅本 朋幸、米津 太志、笠野 哲郎

IV-6 抗血小板薬2剤併用療法にて冠動脈血栓の消失を認めた高度貧血を伴うST上昇型心筋梗塞の一例

(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 古旗悠太郎  
津久井卓伯、坂倉 建一、石橋 峻、笠原 卓、  
渡邊 裕介、瀬口 優、陣内 博行、藤田 英雄

## 一般演題 セッション8 虚血性心疾患2

9:50-10:35

座長（武藏野赤十字病院循環器内科）李 哲民

座長（帝京大学医学部附属病院循環器内科）三浦 瑞樹

コメンテーター（湘南鎌倉総合病院循環器内科）宍戸 晃基

### IV-7 側枝のリクロスにFFR-Angio画像が有用であった1例

(池上総合病院循環器内科学) 猪股 大貴

棗田 誠、大野 貴央、青木 友樹、千葉 雄太、

真野 博明

### IV-8 MINOCA診断における多角的画像評価の重要性を示した一例

(北里大学病院循環器内科) 豊崎 礼

鍋田 健、池田 祐毅、阿古 潤哉

### IV-9 COVID-19肺炎合併の3枝病変の心原性ショックに対し機械的補助循環、経皮的冠動脈形成術により救命した一例

(練馬光が丘病院) 鴨志田 将

齊藤 遥平、門坂麻耶子、裴 賢哲、伴 聰一郎、

齋藤 大樹、間瀬 卓頤、山本 慶、佐藤 陽、

荒尾憲司郎

### IV-10 右室梗塞と心室中隔穿孔による心原性ショックに対して複数のMCSで治療した一例

(横須賀市立総合医療センター循環器内科) 吉田 裕紀

羽柴 克孝、荒木 浩、山口 貴宣、米澤 将克、

圓谷 紘乃、片岡 俊介、南本 祐吾、山脇 理弘、

泊口 哲也、坂 賢一郎、黒木 茂

### IV-11 カッティングバルーンを用いて治療した特発性冠動脈解離による急性冠症候群の一例

(済生会横浜市東部病院初期研修医) 神庭真実子

(済生会横浜市東部病院循環器内科) 毛利 圭佑、島津慶一郎、小山 智久、藤井陽太郎、

谷中 夏海、村井 篤弥、今峰衣理香、深川 知哉、

山口 航平、宮田 雅大、堤 正和、毛利 晋輔、

小林 範弘、伊藤 良明

### IV-12 冠攢縮に伴う血栓形成を契機とした若年の非ST上昇型心筋梗塞の1例

(北里大学病院循環器内科学) 小池 一輝

桂 有智、荒川 雄紀、片峰 正皓、箸方 健宏、

橋本 拓弥、亀田 良、南 尚賢、目黒健太郎、

下浜 孝郎、阿古 潤哉

## 一般演題 セッション9 虚血性心疾患3

10:45-11:30

座長（船橋市立医療センター）岩田 曜

座長（日本医科大学付属病院循環器内科）松下 誠人

コメンテーター（東邦大学医療センター大森病院循環器内科）矢部 敬之

### IV-13 たこつぼ心筋症と特発性冠動脈解離を合併した一例

(東京ベイ・浦安市川医療センター診療部) 野溝ゆうな

(東京ベイ・浦安市川医療センター循環器内科) 浅野 和宏、野口 将彦、小島 俊輔、加藤 悠太、

花房 克行、仲間 達也、小船井光太郎

(東京ベイ・浦安市川医療センター総合内科) 相木 康宏、小松 桃子、パラマジョン賢一

IV-14 抗凝固薬の休薬中に急性心筋梗塞を発症した抗リン脂質抗体症候群の一例

(横浜市立大学附属病院循環器内科学) 後藤 真央  
小西 正紹、関矢 圭祐、鈴木 徹、小村 直弘、  
大塚 文之、日比 潔

IV-15 背側部誘導の記録が診断に有用であった急性後壁心筋梗塞の一例

(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター) 澤野 莉沙  
小菅 雅美、花島 陽平、堤 勝彦、菊地進之介、  
中橋 秀文、松下 純介、郷原 正臣、木村裕一郎、  
岡田 興造、岩橋 徳明  
(横浜市立大学医学部循環器内科教室) 日比 潔

IV-16 冠攣縮の関与が示唆された突然死の2部検例

(昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 三木 華爾  
関本 輝雄、新家 俊郎  
(昭和医科大学医学部法医学講座) 松山 高明  
(昭和医科大学医学部法医学講座/昭和医科大学藤が丘病院循環器内科学部門) 沼尻 祐貴  
(昭和医科大学藤が丘病院循環器内科学部門) 鈴木 洋

IV-17 労作性狭心症に対するPCI後に多枝冠攣縮性狭心症を診断し得た一例

(東京医科大学病院) 菊池 栄汰  
伊藤 亮介、高田洋一郎、村田 直隆、山下 淳、  
里見 和浩、金澤 英明

IV-18 院外心停止のECPELLA管理においてImpella併用PCRTDにより早期にMCSが離脱可能と判断できた一例

(さいたま赤十字病院循環器内科) 飯島 由実  
加藤 駿一、松村 穂、稻葉 理、大和 恒博、  
根木 謙、稻村 幸洋、高木 崇光、狩野 実希、  
羽田 泰晃、松田 隼治、大屋 寛章、橘 伸一、  
磯長 祐平、中田健太郎、目黒 真、忠岡 直樹、  
池口 琴乃、黒坂 英司、柳谷 直太、細川 藍

一般演題 セッション10 心内膜炎

11:40-12:10

座長 (東邦大学医療センター大森病院循環器内科) 中西 理子  
座長 (東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科) 柏木 雄介  
コメンテーター (埼玉石心会病院心臓血管外科) 清水 篤

IV-19 弁外(左室流出路)に疣状が付着した感染性心内膜炎の外科的治療経験

(聖隸横浜病院心臓血管センター) 清原 久貴  
山中遼太郎、笠間 武瑠、長谷川和喜、富島 佳之、  
仙波 貴之、河合 慧、中島 啓介、乗松 東吾、  
芦田 和博  
(東邦大学医療センター大橋病院心臓血管外科) 合田 真海、高遠 幹夫、志村信一郎、尾崎 重之

IV-20 弁輪部の疣状に対する経食道心エコーの有用性を示した感染性心内膜炎の一例

(獨協医科大学病院心臓血管内科/循環器内科) 先川はるか  
西川 理壱、鈴木 利憲、和田 茉与、上原 大毅、  
綿引 愛美、渡邊 諒、伊波 秀、豊田 茂、  
加藤 昂、川村 匠、福田 宏嗣、坂本 哲

IV-21 脾梗塞で診断された潰瘍性大腸炎関連感染性心内膜炎への治療後の脾動脈仮性瘤へコイル塞栓術を施行した一例

(筑波記念病院循環器内科)

山崎誠一郎

内田 靖人、山本 正浩、中根 啓貴、太田 千尋、

新居 秀郎、上原 裕規、井川 昌幸、榎本 強志

(筑波記念病院放射線科)

高橋 信幸

IV-22 感染性心内膜炎に合併した上腸間膜動脈領域末梢の感染性動脈瘤に対してコイル塞栓術が有効であった一例

(さいたま赤十字病院循環器内科)

佐藤 蓮

磯長 祐平、目黒 貞、中田健太郎、加藤 駿一、

橋 伸一、大屋 寛章、松田 隼治、羽田 泰晃、

狩野 実希、高木 崇光、稻村 幸洋、根木 謙、

大和 恒博、稻葉 理、松村 穂

ランチョンセミナー4

12:20-13:10

共催：日本ライフライン株式会社

座長（榎原記念病院）

関口 幸夫

リードマネージメントを知る

リードマネージメントの実際～アンダートリートメントにならないために知ってほしいこと～

(国際医療福祉大学三田病院) 合屋 雅彦

リードの功罪を考慮したICDの選択

(榎原記念病院) 井上 完起

会長企画セッションⅡ

13:20-14:50

座長（榎原記念病院循環器内科） 高見澤 格

座長（聖マリアンナ医科大学病院循環器内科） 出雲 昌樹

SHDインターベンションの将来展望を知る：大動脈弁、僧帽弁、三尖弁膜症について

大動脈弁インターベンションの未来地図

(湘南鎌倉総合病院循環器内科) 森山 典晃

齋藤 滋

僧帽弁治療のGame Changer：経カテーテル治療の進化とこれから

(東邦大学医療センター大森病院循環器内科) 佐地 真育

池田 隆徳、矢部 敬之、小原 浩

今こそ知っておくべき三尖弁カテーテル治療

(聖マリアンナ医科大学病院循環器内科) 梶田 真吾

デザートセミナー4

15:00-15:50

共催：アボットメディカルジャパン合同会社

座長（榎原記念病院） 新田 順一

座長（慶應義塾大学病院） 高月 誠司

アブレーションにおけるViewFlex ICEとEnSite X Contact IndexとPercloseの有効性

PFAカテーテルのコンタクトを可視化する -ViewFlexとContact Indexの使用テクニック-

(東京科学大学病院) 河村 岩成

血管合併症ゼロを目指して -当院でのパークローズ安全使用テクニック-

(東京ハートリズムクリニック) 桑原 大志

デザートセミナー7

16:00-16:50

共催：ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社

座長（筑波大学医学医療系循環器内科）石津 智子

肥大型心筋症治療のトータルマネジメント

新たなHOCM診療における心エコー診断：負荷エコーからの考察

（聖マリアンナ医科大学循環器内科） 出雲 昌樹

HOCM診療をどう組み立てるか：Mavacamtenの登場で変わる治療体系

（榎原記念病院循環器内科肥大型心筋症センター） 高見澤 格

## 第V会場

### 一般演題 セッション11弁膜症1

9:00-9:35

座長（東京女子医科大学循環器内科）大門 雅夫

座長（慶應義塾大学医学部循環器内科）白川 公亮

コメンテーター（順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科）土井信一郎

V-1 大動脈弁の石灰化と狭小弁輪を有する重症大動脈弁狭窄症に対し、Evolute FX を留置した一例

（杏林大学医学部付属病院循環器内科） 泉 圭一

小山 幸平、三浦 陽平、齊藤 竜平、福士 圭、

舟橋紗耶華、三浦 佑介、永松 佑基、浦田 翔一、

渡部 晃佑、副島 京子

（杏林大学医学部付属病院心臓血管外科） 稲葉 雄亮

V-2 大動脈四尖弁に伴う大動脈弁閉鎖不全に対する右小開胸完全鏡視下大動脈弁置換の一例

（榎原記念病院心臓血管外科） 佐久本一樹

矢野 敦之、角 康平、尹 亮元、大野 真、

中原 嘉則、岩倉 具宏

V-3  $\beta$ 遮断薬中止を契機にSAMによる重症僧帽弁逆流を発症した高齢者の1例

（自治医科大学付属さいたま医療センター循環器内科） 中村 貴芳

長谷川宏子、大橋 潤平、山本 真吾、牧 尚孝、

林 達哉、坂倉 建一、藤田 英雄

V-4 無症候性重症大動脈弁閉鎖不全症に広範型急性肺血栓塞栓症を合併し診断と治療に難渋した一例

（東京医科大学八王子医療センター循環器内科） 中島 悠希

北村 美樹、池谷 太郎、川上 恵、山下 裕貴、

出口 陽之、竹内 文寿、大西 将史、嘉澤脩一郎、

岩崎 陽一、久保 隆史、田中 信大

（東京医科大学病院循環器内科） 山下 淳、里見 和浩

（東京医科大学病院心臓血管外科） 島原 佑介

V-5 長期持続性心房細動による機能性僧帽弁閉鎖不全症を伴う心原性ショックをECPELLAと開心術で救命した一例

（練馬光が丘病院循環器内科） 門坂麻耶子

裴 賢哲、鴨志田 将、住本 陸、齊藤 遥平、

伴 聰一郎、斎藤 大樹、間瀬 卓顕、佐藤 陽、

山本 慶、荒尾憲司郎

### 一般演題 セッション12弁膜症2

9:45-10:20

座長（杏林大学医学部循環器内科学） 村田 光繁

座長（東京女子医科大学病院循環器内科） 大槻 尚男

コメンテーター（新潟大学医歯学総合病院循環器内科） 大久保健志

V-6 大動脈四尖弁閉鎖不全症に対する大動脈弁形成術の経験

（東京慈恵会医科大学附属病院心臓外科） 前田 恵

石割 圭一、高木 智充、桐谷ゆり子、松村 洋高、

儀武 路雄、長堀 隆一、國原 孝

V-7 腱索断裂による急性僧帽弁閉鎖不全症に対して、ImpellaとVV-ECMOを併用することで救命し得た1例  
(土浦協同病院) 奥井 裕太  
木下 亮二、渡邊 大樹、岡口 和也、広岡 一信

V-8 肺動脈性肺高血圧症合併の重症器質性僧帽弁閉鎖不全症に対し肺血管拡張薬導入後にMitraClipを施行した一例  
(自治医科大学卒後臨床研修センター)  
(自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 山本 紗也  
佐藤 雅史、和地 純佳、平田 悠翔、鈴木 悠介、  
久保田香菜、大場 祐輔、石山 裕介、小形 幸代、  
原田 顕治、苅尾 七臣

V-9 心雜音を伴わず診断に苦慮したショックを伴う重症急性僧帽弁閉鎖不全症の一例  
(新潟市民病院循環器内科学) 村守 太希  
尾崎 和幸、佐藤 史弥、加藤 晃帆、瀬尾 友太、  
苅部 哲也、原 悠輔、内藤 大智、秋山 琢洋、  
柏 麻美、林 由香、田中 孔明、保坂 幸男、  
高橋 和義

V-10 右冠動脈起始異常を伴う、低心機能、重症大動脈弁狭窄症に対して経皮的大動脈弁置換術を施行した一例  
(上尾中央総合病院循環器内科) 松本 琴美  
中島 祥文、添田 裕基、渡邊健太郎、田中小百合、  
李 劍熙、鍵山弘太郎、増田新一郎、小橋 啓一、  
中野 将孝、谷本 周三、緒方 信彦  
一色 高明  
(上尾中央総合病院循環器内科/アルシェクリニック)  
(上尾中央総合病院心臓血管外科) 堀 大治郎

#### 一般演題 セッション13 心筋炎・心筋症1

10:30-11:15

座長 (佐久総合病院佐久医療センター循環器内科) 矢崎 善一  
座長 (昭和医科大学循環器内科) 谷澤 宏樹  
コメンテーター (東京大学大学院医学系研究科先端循環器医科学講座) 小室 仁

V-11 全身性エリテマトーデスに合併した心臓サルコイドーシスの一例  
(獨協医科大学日光医療センター循環器病センター)  
(獨協医科大学日光医療センター心臓・血管・腎臓内科) 大谷 直由  
北原慶次郎  
水口 聰、巴 崇、小野 翔也、杉山 拓史、  
安 隆則、前嶋 康浩

V-12 高度房室ブロックで発症し、ステロイドパルス療法で改善した免疫チェックポイント阻害薬関連心筋炎の1例  
(東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科) 川島 将  
多賀宇太郎、宇野 剛輝、櫻井 琢也、柏木 雄介、  
小川 和男、徳田 道史  
(東京慈恵会医科大学附属病院皮膚科) 渡邊 淑織

V-13 周産期心筋症と診断したのち、外来経過観察中にミトコンドリア心筋症と判明した一例  
(東京女子医科大学病院循環器内科) 福永ゆりか  
春木伸太郎、大藪謙次郎、藤田 元博、岸原 誠、  
亀谷 智子、服部 英敏、南 雄一郎、山口 淳一  
(東京女子医科大学病院病理診断科) 吉澤佐恵子

V-14 劇症型心筋炎に対してimpellaを挿入し良好な経過を辿った一例

(東京医科大学病院循環器内科) 田山 雄大

富士田康宏、佐々木雄一、岡野 智也、濱 知明、  
手塚 純子、中野 宏己、山下 淳、里見 和浩、  
小菅 寿徳

V-15 Impella補助下多剤免疫抑制療法により救命し得た免疫チェックポイント阻害薬関連劇症型心筋炎の一例

(日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 脇田 真希

渡邊 将央、伊藤 紳晃、浅見 慎思、川村 崇、  
木村 徳宏、瀧谷 淳介、中田 淳、宮地 秀樹、  
山本 剛

(日本医科大学循環器内科) 浅井 邦也

V-16 進行する伝導障害を契機に診断された若年発症の全身性エリテマトーデス関連心膜心筋炎

(横浜労災病院) 渡辺 海矢

木野 旅人、古賀 一輝、今若 樂明、柴尾 喬志、  
齊木 隆裕、寺内 佳梨、川島 瞬、松本 裕成、  
高橋 怜、本道 春花、加藤 聰、福澤 朋幸、  
田中 真吾、青木 元、柚本 和彦

一般演題 セッション14 心筋炎・心筋症2

11:25-12:10

座長 (東京女子医科大学附属足立医療センター循環器内科) 嵐 弘之

座長 (東邦大学医療センター大森病院循環器内科) 橋本 英伸

コメンテーター (東京大学医学部附属病院循環器内科) 蛭間 貴司

V-17 左室自由壁破裂による突然死をきたしたたこつぼ型心筋症の一例

(東京警察病院) 菅野 聖城

大津 裕、奈良 有悟、金子 光伸、寺井 知子、  
帶包 姫代、猪飼 信康

V-18 原因不明の左室肥大症例におけるT1マッピングを用いたFabry病のスクリーニング

(榎原記念病院循環器内科/高知大学老年病・循環器内科) 舟木 孝志

(榎原記念病院循環器内科) 中山 敦子、高見澤 格、七里 守、高山 守正、  
磯部 光章

(榎原記念病院放射線科) 大滝 裕香

(高知大学老年病・循環器内科) 北岡 裕章

V-19 進行乳がん治療に伴うがん治療関連心機能障害 (CTRCD) に対して集学的治療により改善を得た一例

(防衛医科大学校医学科) 吉田翔太郎

(防衛医科大学校病院循環器内科学) 長友 祐司、宮内 瑛、大堀 正則、漆島 司、  
前川原愛美、内藤 薫、内藤 朱美、中澤 亮太、

(防衛医科大学校集中治療部) 小西 崇夫、池上 幸憲、足立 健

安田理紗子、眞崎 暢之

V-20 Multimodalityでの評価で全身性サルコイドーシスと診断し得た心不全の一例

(昭和医科大学江東豊洲病院臨床研修センター) 軽部 理子

(昭和医科大学江東豊洲病院循環器内科) 石永 智之、合田 周平、浅川 将輝、相澤 直樹、  
古屋 貴宏、佐藤 千聰、西藏 天人、池田 尚子、  
若林 公平、丹野 郁

V-21 VT stormに対しカテーテルアブレーションを施行した左室心筋緻密化障害(LVNC)の1例  
(千葉県総合救急災害医療センター循環器内科) 深澤 悠輝  
橋本 理、木下 廉亮、奥谷 孔幸、木村 高志、  
高橋 雅史、若林 慎一、山岡 智樹、前川 祐子、  
前川 潤平、酒井 芳昭

V-22 心サルコイドーシス再燃を契機にICD埋込を施行した一例  
(足利赤十字病院循環器内科) フリー・マン里奈  
横倉 創一、篠田 雄平、梅園 龍、前野 栄孝、  
戸倉 通彰、阿部 七郎

ランチョンセミナー5 12:20-13:10 共催:アストラゼネカ株式会社  
座長 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 武田 憲彦  
心不全と心房細動 ~早期介入の重要性と生命予後改善にむけて~  
(東京慈恵会医科大学循環器内科) 徳田 道史

第26回ダイバーシティ・フォーラム/第7回 U-40部会企画セッション  
13:20-14:50 座長 (東京科学大学病院循環器内科) 大森 真理  
座長 (日本医科大学付属病院循環器内科) 星加 優  
循環器アカデミー vol. 2 “明日から役立つ救急対応編”

「胸痛対応」を怖れなくなった悲しきモンスターの思考回路 ~知識を知恵へと昇華する~  
(埼玉県立循環器・呼吸器病センター循環器内科) 池田 和也

明日から失神が診たくなる! - 「面倒くさい」「難しい」を超えて学ぶ失神診療 -  
(前橋赤十字病院心臓血管内科) 峯岸美智子

「頻拍って怖い…」を卒業せよ! - フリーズしない動悸・頻拍の考え方 -  
(東京女子医科大学病院循環器内科) 松井 優子

デザートセミナー5 15:00-15:50 共催: P D R ファーマ株式会社  
座長 (東京山手メディカルセンター第一循環器内科) 薄井 宙男  
安定冠動脈疾患におけるマルチモダリティ評価の最適化:エビデンスに基づく意思決定  
(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 相川 忠夫

デザートセミナー8 16:00-16:50 共催: アムジェン株式会社  
座長 (自治医科大学さいたま附属医療センター循環器内科) 坂倉 建一  
「冠動脈疾患に対する積極的脂質低下療法up to date」 ~一次予防・二次予防を含む包括的脂質管理~  
(慶應義塾大学医学部循環器内科) 沼澤 洋平

研修医セミナー  
17:00-18:00 座長 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 石田 純一  
座長 (虎の門病院循環器センター内科) 山口 徹雄  
パネリスト (昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科部門) 酒井孝志郎  
パネリスト (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 田中 徹  
若手循環器医のNext step!海外学会発表と留学のリアルストーリー:海外留学を実現、成功させるには?

海外留学のメリットとデメリット~3年間のドイツでの基礎研究生活の振り返り~  
(東京大学医学部附属病院循環器内科) 石田 純一

トロントで学んだ文化と最新の弁膜症カテーテル治療  
(虎の門病院循環器センター内科) 山口 徹雄

## 第VI会場

東京都脳卒中心臓病等総合センター事業/東京都心リハネットワークジョイントセッション  
9:00-10:10

座長（榊原記念病院循環器内科/心臓リハビリテーション/心臓病総合支援センター）中山 敦子  
座長（東京女子医科大学循環器内科）上野 敦子

“今日から使える”運動処方 — 実践型・心リハ導入セッション

### Opening

東京都心リハネットワークの現在地：実態と調査から見えた課題と可能性  
(榊原記念病院循環器内科/心臓リハビリテーション/心臓病総合支援センター) 中山 敦子

### 基調講演

運動処方のエッセンス：現場で迷わない“処方の考え方と組み立て方”  
(心臓血管研究所付属病院循環器内科) 加藤 祐子

### ケーススタディ

標準プロトコルでは動かない症例へのアプローチ — 個別最適化の実際  
(東海大学医学部附属八王子病院循環器内科) 牛島 明子

### 外来心リハ室新規開設

#### ◎地域基幹病院編

ゼロからの外来心リハ立ち上げ — 地域基幹病院の挑戦  
(玉川病院循環器内科) 小野 剛

#### ◎クリニック編

クリニックでここまでできる外来心リハ — 導入・運営のリアル  
(循環器内科と心臓リハビリの高針クリニック循環器内科) 竹中 真規  
(循環器内科と心臓リハビリの高針クリニック) 新屋加奈子、片瀬 理美、市場 奈桜  
(東京都立広尾病院循環器科) 稲垣 大

### パネルディスカッション

地域で進める運動処方と心リハ導入 — どんな課題がある?  
(榊原記念病院循環器内科) 新保 麻衣  
(東京大学医学部附属病院循環器内科) 神馬 崇宏

### 一般演題 セッション15 デバイス

10:20-11:05

座長（榊原記念病院循環器内科）井上 完起  
座長（東京大学医学部附属病院循環器内科）大島 司  
コメンテーター（東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野）矢野 健介

VI-1 リードレススペースメーカ留置後に遅発性心室期外収縮二段脈から多形性心室頻拍を来たし、抜去を要した一例

(君津中央病院循環器内科) 尾崎 優  
石村 昌之、山本 雅史、氷見 寿治  
(千葉大学循環器内科) 小林 欣夫

VI-2 予期せぬFast VTに対してIntrinsic ATPが有効であった1症例

(獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科) 江口 皓子  
北川 善之、齋藤 郁太、飯田圭太生、井上 弘貴、  
安宅威久男、南 健太郎、豊田 茂  
(群馬県立心臓血管センター) 内藤 滋人

VI-3 複数回の経静脈リード脱落を来たしたTwiddler症候群に対してリードレスペースメーカー移植を行った1例  
(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 岩本雄太朗

森田 峻介、寺坂 謙吾、近藤 寿哉、吉井 智洋、  
堤 勝彦、花島 陽平、桐ヶ谷英邦、中橋 秀文、  
松下 純介、郷原 正臣、木村裕一郎、岡田 興造、  
岩橋 徳明

(横浜市立大学附属市民総合医療センター臨床検査科・臨床検査部) 海老名俊明  
(横浜市立大学附属病院循環器内科) 日比 潔

VI-4 多点ペーシングによる心臓再同期療法患者の臨床転帰に関する検討

(川崎幸病院) 板倉 大輔  
渡邊 一平、山本 周平、佐々木俊輔、和田 真弥、  
中嶋 昭浩、齋藤 直樹、福富 基城、羽鳥 慶、  
中村勝太郎、福永 博、三浦 史晴、中村 淳

VI-5 心室中隔穿孔に対し大動脈内バルーンパンピングを用いて待機的修復術を施行した1例

(国立国際医療センター循環器内科) 塩谷 拓人  
寺島 諒、三宅 渉、榎本 善成、山本 正也、  
原 久男、廣井 透雄

VI-6 運動負荷試験にて診断された運動誘発性房室ブロックの1例

(諏訪中央病院循環器内科) 宮脇 大輝  
青山 泰、若林 穎正

ベストティーチャー生LIVE (地方会あり方検討委員会企画セッション)

11:10-12:10

座長 (帝京大学医学部内科学講座・循環器内科) 上妻 謙  
座長 (群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学分野) 石井 秀樹

「若手医師や学生に響く講義を学ぶ -Part 2-」

いま、ACHDを学ぶ理由～先天性心疾患の基礎知識とACHDの未来

(横浜市立大学附属病院心臓血管外科) 立石 実

急性心筋梗塞のECGと合併症

(日本大学医学部附属板橋病院循環器内科) 新井 陸

ランチョンセミナー6

12:20-13:10

共催:バイエル薬品株式会社

座長 (杏林大学医学部付属病院循環器内科) 河野 隆志

ガイドラインだけでは語れない心不全診療

(慶應義塾大学医学部循環器内科) 白石 泰之

## 一般演題 セッション16 大動脈

13:20-13:55

座長 (東京通信病院循環器内科) 東谷 迪昭  
座長 (東京医科大学病院心臓血管外科) 藤吉 俊毅  
コメンテーター (行徳総合病院循環器内科) 田中 悅史

VI-7 Stanford B型急性大動脈解離に急性心筋梗塞を合併し、緊急経皮的冠動脈形成術を施行した一例

(平塚共済病院循環器内科) 西川陽一郎  
松本 拓己、中田 光宥、津野 航、吉川 宏、  
河本 梓帆、仁井田崇志、秋吉 基光、荒木 恵子、  
岩井 慎介、小林 一士、大西 祐子  
(東京科学大学病院循環器内科) 笹野 哲郎

VI-8 急速な拡大により早期の外科的介入を要したサルモネラ菌による感染性大動脈炎の一例

(小田原市立病院循環器内科) 石井遼太郎  
根本照世志、石井 智大、堀口 愛、成毛 崇、  
弓削 大、川口 竹男

VI-9 保存的治療を受ける大動脈解離患者へのパンフレット介入の効果

(さいたま赤十字病院) 田辺 朝香  
福本 綾華  
(東京医療保健大学) 犬童理佳子

VI-10 重複大動脈弓にて冠動脈アクセスに難渋した急性冠症候群の一例

(小川赤十字病院循環器内科) 玄 有希  
(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 陣内 博行、坂倉 建一、羽鳥 将史、石橋 峻、  
笠原 順、渡邊 裕介、津久井卓伯、瀬口 優、  
藤田 英雄

VI-11 経食道超音波検査で診断に至ったバルサルバ洞瘤破裂の一例

(高崎総合医療センター心臓血管内科) 飯塚 拓巳

## 一般演題 セッション17 心臓・腫瘍/静脈

14:00-14:45

座長 (榎原記念病院附属クリニック循環器内科) 邁 泰樹  
座長 (川崎幸病院心臓外科) 内室 智也  
コメンテーター (東京女子医科大学病院病理診断科) 吉澤佐恵子

VI-12 膣臓に虚血性変化を起こした左房自由壁腫瘍の一例

(筑波メディカルセンター病院循環器内科) 高岩 由  
文藏 優子

VI-13 心尖部への直接浸潤によりST上昇を呈したびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の一例

(埼玉医科大学総合医療センター心臓内科) 志賀野航生  
村上 司、重城健太郎、石原 嗣郎、小宮山英徳、  
谷 昂大、安藤 敏行、奥田 希子、河原 勇貴、  
小形 圭香、家村 優

VI-14 心不全増悪を契機に偶発的に発見され、診断に難渋した左房内腫瘤の一例

(埼玉病院循環器内科) 片山 大樹

小野 智彦、角南 佑季、佐久間一也、平山 愛子、  
山岡 広季、井合 渉、栗原 和人、磯田 徹、  
丹羽 直哉、佐藤 篤志、田中 宏明、鶴見 昌史、  
松村 圭祐

(埼玉病院心臓血管外科) 村田 哲、配島 功成、工藤 樹彦

(埼玉病院病理診断科) 三上 修治

(慶應義塾大学心臓血管外科) 小野 拓哉

(防衛医科大学校病院循環器内科) 宮内 瑛

VI-15 カテーテルアブレーション後の総大腿動脈瘤に起因した巨大総大腿靜脈瘤による心不全増悪の一症例

(心臓血管研究所付属病院循環器内科) 伊藤 伸悟

上嶋 徳久、山本 裕子、廣田 尚美、有田 卓人、  
八木 直治、岸 幹夫、嘉納 寛人、松野 俊介、  
加藤 祐子、鈴木 信也、大塚 崇之、矢嶋 純二、  
山下 武志、及川 裕二

(心臓血管研究所付属病院心臓血管外科) 佐々木花恵、宮本 陽介

VI-16 DVTを発症した妊婦に対し、IVCフィルターを留置した1例

(山梨県立中央病院)

松土 大河

梅谷 健、佐野 圭太、牧野 有高、秋山裕一郎、  
石川諒太郎、小原 由至、平井 良、石原 孝容、  
青沼 謙太

VI-17 IVCフィルター留置5ヶ月後に抜去に成功した1例

(榎原記念病院循環器内科)

河合 冬星

樋口 亮介、浅野 奏、井上 完起、関口 幸夫、  
七里 守、磯部 光章

教育セッションⅢ

榎原記念研究助成プログラム 第21回特別講演

15:00-16:30

座長（公益財団法人榎原記念財団附属榎原記念病院院長）磯部 光章

『循環器医療の提供体制：現状と今後の課題』

「循環器病対策推進基本計画と今後の展望」

(厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課課長) 鶴田 真也

「循環器医療従事者の減少にどう立ち向かうか」

(東京都医師会参与、河北総合病院心臓血管外科) 新井 悟

「大都市東京の循環器医療～過去、現在、そして将来を考える～」

(東京都病院機構副理事長、元都立墨東病院院長) 上田 哲郎

# 榎原記念研究助成 研究成果発表会

第21回 榎原記念研究助成 研究成果発表会を下記のとおり開催いたします。

日 時：2026年2月14日（土） 13:00～16:30

場 所：ステーションコンファレンス東京 402A（4F）&第VI会場（6F）  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12

共 催：第279回日本循環器学会関東甲信越地方会

—————<式次第>—————

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| ●理事長挨拶                 | 13:00～13:10 |
| ●第23回榎原記念研究助成 採択者贈呈式   | 13:10～13:20 |
| 《第21回榎原記念研究助成 研究成果発表会》 | 13:20～14:35 |

助成対象課題：『心不全に迫る：基礎と臨床から』 (発表：1題10分、質疑応答：5分)

座長：吉川 勉 先生 (公益財団法人榎原記念財団 附属榎原記念病院 顧問)

13:20～ 13:35	1	急性心不全に対する網羅的蛋白質解析による個別化医療の確立	Broad Institute of MIT and Harvard 九州大学大学院医学研究院循環器内科学	円山 信之
13:35～ 13:50	2	シングルセルマルチオミクス及び細胞形態評価の統合解析に基づく難治性肥大型心筋症病態解明	東京大学医学部附属病院循環器内科	候 聰志
13:50～ 14:05	3	心房中隔欠損大規模スクリーニング技術の開発～AIによる心電図自動解析を用いて～	東海大学医学部医学科総合内科	後藤 信一
14:05～ 14:20	4	心不全における非心筋細胞の役割の全貌解明と多臓器連関の解明に基づく新規治療法開発	東京大学大学院医学系研究科循環器内科 慶應義塾大学医学部循環器内科	小室 仁
14:20～ 14:35	5	生体膜リン脂質リモデリングが心不全に与える影響の解明 -リゾリン脂質アシル基転移酵素7(LPLAT7)に注目した検討-	University of Cambridge 東京大学医学部附属病院循環器内科	武城 怜史

(敬称略・五十音順)

【コーヒーブレイク&第VI会場（6F）へ移動（25分）】

《第21回特別講演》 15:00～16:30 会場：第VI会場（6F）

第279回日本循環器学会関東甲信越地方会「教育セッションIII」（単位取得可）

セッションテーマ：『循環器医療の提供体制：現状と今後の課題』

座長：磯部 光章 先生 (公益財団法人榎原記念財団 附属榎原記念病院 院長)

講師：鶴田 真也 先生 (厚生労働省 健康・生活衛生局がん・疾病対策課 課長)

「循環器病対策推進基本計画と今後の展望」

講師：新井 悟 先生 (東京都医師会 参与、河北総合病院心臓血管外科)

「循環器医療従事者の減少にどう立ち向かうか」

講師：上田 哲郎 先生 (東京都病院機構 副理事長、元都立墨東病院 院長)

「大都市東京の循環器医療～過去、現在、そして将来を考える～」

お問い合わせ先：公益財団法人 榎原記念財団 事務局

Tel: 042-367-4045 E-mail: [kigarashi@hq.heart.or.jp](mailto:kigarashi@hq.heart.or.jp)

## 第279回日本循環器学会関東甲信越地方会

### 「関東甲信越で広げる心不全患者への支援の輪」

会場：ステーションコンファレンス東京4F 402CD

日時：2026年2月14日(土)13:20～14:50



内容：パネルディスカッション、グループワーク

司会：中島美知穂（都立墨東病院）

大館祐佳（日産厚生会玉川病院） 加川陽子（榎原記念病院）

対象：心不全療養指導に関心のある方（心不全療養指導士資格の有無は問いません）

定員：50名（先着順：右下のQRコードよりお申込みください）



近隣にお住まいの方はこの機会にぜひご参加ください  
心不全療養指導士の更新単位：5単位も取得可能です



申込みフォーム

※参加の際は、別途関東甲信越地方会参加料（1,000円）が必要となります。

## 一般社団法人日本循環器学会 支部規程

### (総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

### (事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

### (目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的的達成に必要な事業

### (会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

### (社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

### (支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

### (支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

### (支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

### (支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

### (支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

#### (地方会会长)

第11条 各地方会に会長1名を置く。

2. 地方会会长は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会长は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会长の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

#### (支部役員会)

第12条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年1回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
  - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
  - 2) 地方会会长の選出
  - 3) 支部運営上重要な規則の承認
  - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

#### (支部社員総会)

第13条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年1回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
  - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
  - 2) 決定された支部長の確認
  - 3) 支部役員・支部監事・地方会会长の承認または解任
  - 4) 支部運営上重要な規則の確認
  - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

#### (支部評議員会)

第14条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年1回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
  - 1) 予算・決算
  - 2) 事業計画および事業報告
  - 3) 地方会会长及び地方会開催地
  - 4) 支部長の選出結果
  - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

#### (支部事務局業務)

第15条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

#### (地方会)

第 16 条 各支部は地方会を年 1 回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会长と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会长もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後 2 カ月以内に完了させること。

#### (JCS-ITC 講習会)

第 17 条 各支部は JCS-ITC 講習会を JCS-ITC 担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC 講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC 担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

#### 附則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

## 支部コンプライアンス・倫理規程

### (目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

### (定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

### (支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

### 附 則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

# 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

## (総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

## (支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都新宿区篠町43 新神楽坂ビル2F 有限会社ビジョンブリッジ内に設置する。

## (支部長)

### 第3条

2. 2年毎に行われる理事選出選挙の後、支部規程第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
3. 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
4. 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
5. 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

## (副支部長)

- 第4条 本支部に副支部長を1名を置く。
2. 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
  3. 支部長に事故あるとき、又は支部長が別の支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。
  4. 副支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を遵守しなければならない。

## (支部役員)

### 第5条

2. 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
3. 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
4. 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
5. 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

## (支部監事)

### 第6条

2. 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
3. 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。

4. 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は2年とし、再任はさまたげない。
5. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

#### 第7条

2. 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC講習会担当幹事1名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事1名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 支部事務局担当幹事ならびにJCS-ITC担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

#### 第8条

2. 支部規程第10条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部社員総会において承認する。
3. 推薦人は、支部役員会予定日より15日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の3項をすべて満たすこととする。
  - 1) 65歳以下で7年以上日本循環器学会会員であること
  - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
  - 3) 本支部地方会において過去5年間に3演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、異動および転籍により関東甲信越支部の会員となった場合は、他支部における演題発表を特例として認める。  
また、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

(地方会会长)

#### 第9条

2. 支部規程第11条に定める地方会会长の選出方法は以下のとおりとする。
  - 1) 資格：教授または部長以上の本支部評議員
  - 2) 推薦方法：評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
  - 3) 推薦時期：支部役員会開催予定日より15日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会长は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

4. 地方会会长は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
5. 地方会会长は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のものが利用出来ない体制を構築しなければならない。
10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会)

#### 第10条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年1回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年1回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年2回開催とする。
5. 支部評議員会は、年3回開催とする

(支部事務局業務)

#### 第11条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記1項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。(契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。)

(地方会)

#### 第12条

2. 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は毎年4回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金90万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。

9. 地方会当日の現金（参加費）の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書とともに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会长は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めた通りとする。

(JCS-ITC 講習会)

第13条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱については、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要的経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。  
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛ての領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉

税分の納税を行う。（謝金金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）

11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

（支部委員会）

第14条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るために必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改訂  
令和2年9月5日一部改訂  
令和5年10月1日一部改訂  
令和7年9月13日一部改訂

## 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

### (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

### (目的)

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

### (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

### (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

### (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

### (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。
- 2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

### (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

### (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

### (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

## 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

### (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

### (目的)

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

### (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

### (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

### (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

### (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 学会のホームページの作成、管理及び運用
- 2) インターネットによる本会の情報サービス
- 3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動
- 4) その他必要な業務。

### (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

### (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

### (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

# 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

## (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

## (目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

## (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

## (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

## (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

## (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携
- 2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施
- 3) その他必要な業務

## (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

## (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

## (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

# 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

## (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

## (目的)

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

## (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

## (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

## (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

## (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。
- 2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。
- 3) 委員は、関係諸学会への涉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。
- 4) その他必要な業務

## (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

## (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

## (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

# 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

## (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

## (目的)

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

## (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

## (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

## (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

## (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。
- 2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。
- 3) その他必要な業務

## (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

## (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

## (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

# 一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

## (設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

## (目的)

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会に上申することを目的とする。

## (組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

## (委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

## (委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

## (業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。
- 2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。
- 3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。
- 4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

## (計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

## (報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

## (改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

**MEMO**

**MEMO**

**MEMO**

**MEMO**



# BIOTRONIK は、 日本の医療従事者のご意見を 具現化しています。

**Amvia Sky HF-T QP**  
Home Monitoring  
1234567890  
BIOTRONIK  
Made in Germany

**Amvia Sky DR-T**  
Home Monitoring  
1234567890  
BIOTRONIK  
Made in Germany

**Acticor 7 DR-T**  
Home Monitoring  
VDE-DDDR  
12341259  
BIOTRONIK  
Made in Germany

**Rivacor 7 HF-T QP**  
Home Monitoring  
VDE-DDDRV  
12345479  
BIOTRONIK  
Made in Germany

**KINERATOR**  
VDE-DRIVE  
T-DR 4K2 BIVIMA  
P52LHE51  
ADE-DDDR  
BIOTRONIK

**KINERATOR**  
VDE-DRIVE  
T-DR 4K2 BIVIMA  
P52LHE51  
ADE-DDDR  
BIOTRONIK

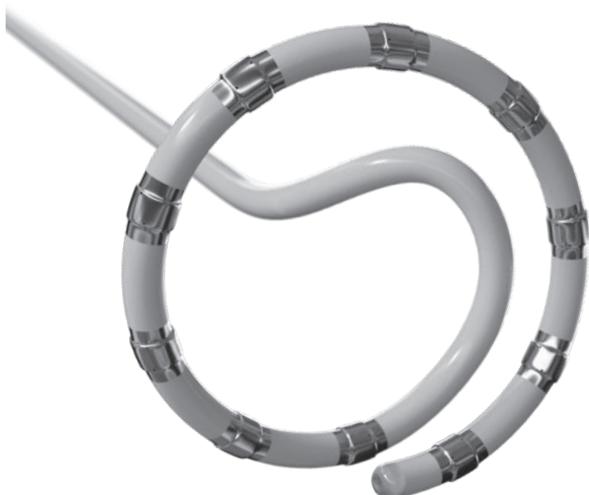
**製造販売業者**  
バイオトロニックジャパン株式会社  
〒150-0013  
東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー  
Tel.03-3473-7471 Fax.03-3473-7472

**外国製造業者**  
BIOTRONIK SE & Co. KG (ドイツ連邦共和国)

製品の詳細に関しては、該当する医療機器の電子化された添付文書をご確認いただくか、弊社営業までお問い合わせください。

**BIOTRONIK**  
excellence for life

# Own the Field with CARTO® VARIPULSE® Platform



**VARIPULSE®**

Catheter



**TRUPULSE®**

Generator

販売名: VARIPULSEパルスフィールドアブレーションカテーテル

医療機器承認番号: 30500BZX00294000

販売名: TRUPULSEジオレータ

医療機器承認番号: 30500BZX00295000

販売名: バイオセンスCARTO 3

医療機器承認番号: 22200BZX00741000

製造販売元

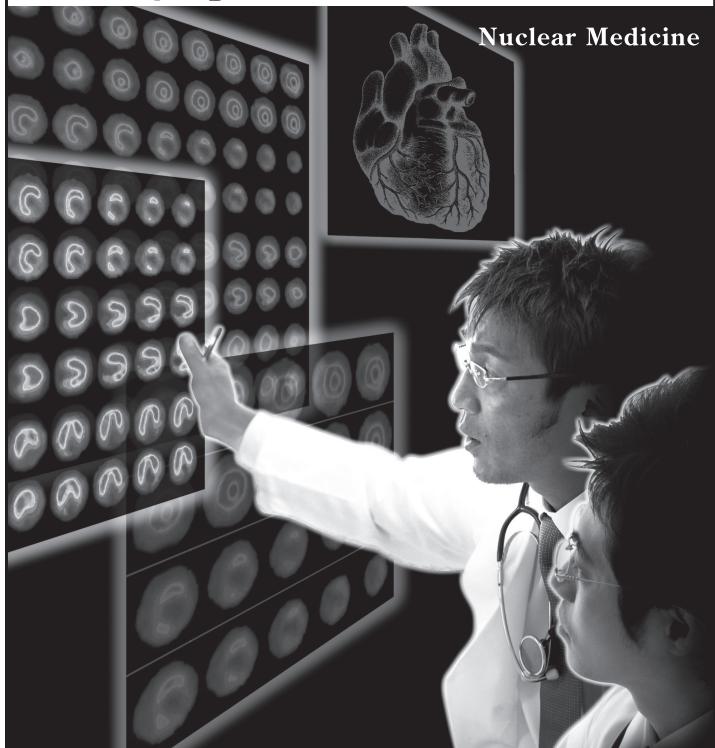
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカル カンパニー

〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号

Tel: 0120-160-834

**Johnson&Johnson  
MedTech**

©J&J KK 2024 JP\_BWI\_THER\_355101



## Nuclear Medicine

処方箋医薬品<sup>(1)</sup> 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、副甲状腺疾患診断薬  
腫瘍(脳、甲状腺、肺、骨・軟部、総腸)診断薬

**塩化タリウム(201TI)注NMP**

日本製局塩化タリウム(201TI)注射液

薬価基準収載

処方箋医薬品<sup>(2)</sup>

放射性医薬品・心疾患診断薬

**カルディオダイナ<sup>®</sup>注**

放射性医薬品基準15-(4-ヨードフェニル)-3(R,S)-オキルベンゾテカノ酸(123I)注射液

薬価基準収載

処方箋医薬品<sup>(3)</sup>

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

**マイオビュー<sup>®</sup>注シリソジ**

放射性医薬品基準テロホスミンテクネチウム(99mTc)注射液

薬価基準収載

処方箋医薬品<sup>(4)</sup>

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

**マイオビュー<sup>®</sup>「注射用」**

放射性医薬品基準テロホスミンテクネチウム(99mTc)注射液調製用

薬価基準収載

®:登録商標

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

- 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

製造販売元  
**日本メジフィジックス株式会社**

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

[文献請求先及び問い合わせ先] ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの"医療関係者専用情報"サイトでSPECT検査について紹介しています。

<https://www.nmp.co.jp>

2025年1月改訂

聴診に精通した医療プロフェッショナル（医師・看護師・臨床検査技師）による遠隔聴診読影サポート

心臓超音波  
検査が必要かの  
判断材料に

## 遠隔医療支援システム

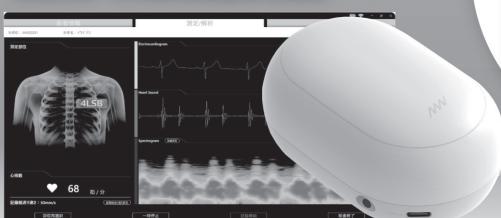
# クラウド超診<sup>®</sup>

心音図検査装置

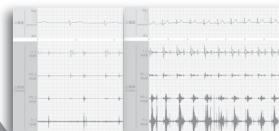
**Cardio-EGG™**

(カルディオ・エッグ)

Cardio-EGG™ of Phonocardiogram Systems



聴診上の所見  
(心雜音や過剰心音等)  
を多角的に確認できる



独自の推論結果を  
踏まえた解析レポートを  
迅速出力



製造販売業者

**AMI Inc.**

販売名称:心音図検査装置AMI-SSS01シリーズ

承認番号:30400BZX00218000

一般的名称:汎用心音計

クラス分類:管理医療機器(クラスII)特定保守管理医療機器

販売代理店

**Dvx** ディーブイエックス株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1丁目8-15 Wビル21階 <https://www.dvx.jp>

薬価基準収載

選択的尿酸再吸収阻害薬 一高尿酸血症治療剤

0.5 mg  
1 mg  
2 mg

【ドチヌラド】  
URECE® Tablets 0.5 mg・1 mg・2 mg

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

※効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む  
注意事項等情報等は電子添文をご参照ください。



販売<／文献請求先及び問い合わせ先>  
持田製薬株式会社  
東京都新宿区四谷1丁目7番地  
TEL 0120-189-522(くすり相談窓口)

製造販売元<文献請求先及び問い合わせ先>  
株式会社 富士薬品

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-12-5 沢田ビル6階  
TEL 048-644-3247(カスタマーサービスセンター)

2025年1月作成(N6)



FARAPULSE™  
Pulsed Field Ablation System

Boston  
Scientific  
Advancing science for life™

## Pioneering Future Ablation



販売名: FARAWAVE カテーテル  
医療機器承認番号: 30600BZX00197000

販売名: FARADRIVE スティーラブルシース  
医療機器承認番号: 30600BZX00182000

販売名: FARASTAR コンソール  
医療機器承認番号: 30600BZX00196000

販売名: FARASTAR 専用ケーブル  
医療機器届出番号: 13B1X00043000095

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。

© 2024 Boston Scientific Corporation or its affiliates.

All rights reserved. All trademarks are the property of their respective owners.

製造販売元:  
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社  
本社 東京都中央区中通4-10-2 中野セントラルパークサウス  
www.bostonscientific.jp  
EP-2044015EP-AA



Lilly  
A MEDICINE COMPANY



新発売



## ゼップバウンド® アテオス®

チルセバチド注射液 Zepbound® Subcutaneous Injection ATEOS®

創薬・処方箋医薬品（注音一医師等の執方箋により使用すること）

最適使用推進ガイドライン対象品目

薬価基準収載

肥満症治療剤 持続性GIP/GLP-1受容体作動薬

2.5mg  
5mg  
7.5mg  
10mg  
12.5mg  
15mg

アテオス®  
皮下注

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文を参照ください

販売元（文献請求先及び問い合わせ先）

田辺ファーマ株式会社

製品情報に関するお問い合わせ

TEL:0120-753-280（くすり相談センター）

製造販売元（文献請求先及び問い合わせ先）

日本イーライリリー株式会社

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口

0120-360-605<sup>①</sup>（医療関係者向け）

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30<sup>②</sup>

\*1 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。

\*2 休憩日および当社休日を除きます。

medical.lilly.com/jp

(審)25IX230

PP-ZP-JP-0728 2025年12月作成

PHILIPS

# レーザー治療に 速さを

前世代機と比較し、より小さく、軽く、速く、

扱いやすくなりました

Together, we make life better.

innovation ✨ you

製造販売業者

株式会社フィリップス・ジャパン

[www.philips.co.jp/healthcare](http://www.philips.co.jp/healthcare)

販 売 名: フィリップス レーザーシステム Nexcimer

医療機器承認番号: 30400BZX0242000

クラスIII 高度管理医療機器／特定保守管理医療機器／設置管理医療機器

記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。

©2023 Koninklijke Philips N.V.



信頼と実績と共に、新たなステージへ

# ***Ultimaster Nagomi***<sup>TM</sup>

シリコムス溶出コロナリーステントシステム



\* Ultimasterの名称には、臨床課題の克服に貢献したいという想いが込められています。一般的な名称：冠動脈ステント 販売名：アルチマスターナゴミ 医療機器承認番号：30300BZX00264000

製造販売業者 テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 [www.terumo.co.jp](http://www.terumo.co.jp)

※本製品の詳細は電子添文をご参照ください。

記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。

©テルモ株式会社 2021年11月